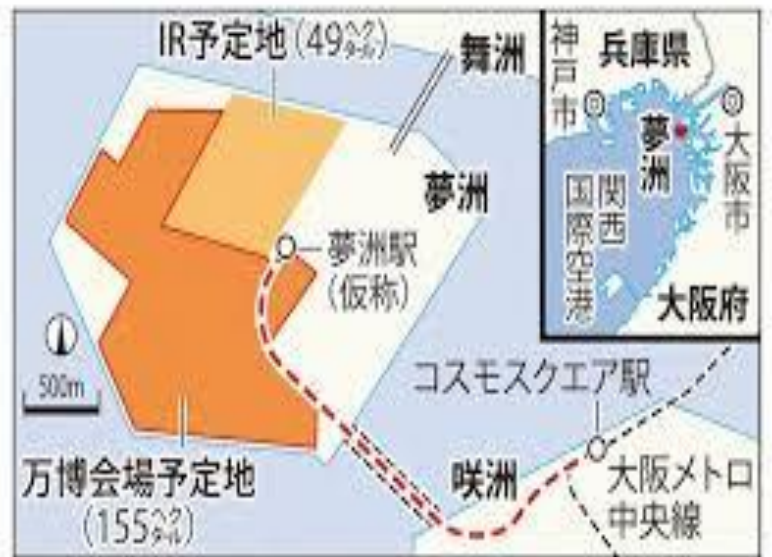


血税の埋め立て地 ＝夢洲 カジノも 万博も いらない!



11/5 15:00~16:00 梅田ヨドバシカメラ前

みんな集まれ 府民大宣伝行動 リレートーク参加/チラシ/鳴り物・歓迎

【呼びかけ】 夢洲カジノを止める会・吹田+夢洲カジノを止める会 池田・豊中・箕面
【協賛】 夢洲カジノを止める大阪府民の会

どん詰まりの夢洲万博 2025年4月に大阪市・夢洲（上図↑）で開催予定の大阪・関西万博は、莫大な負担を市民に押しつけるものです。「万博の華」とされるパビリオンの建設は一向に進まず、仮設建築物許可申請をした国はチェコとモナコの2国のみ。会場建設費は当初の1.8倍の2350億円規模に増大。さらに万博協会は、来年度から始まる建設業界への時間外労働年360時間の上限規制を万博関係の工事に適用しないよう政府に要請。労働者に「命を削る」突貫工事を押し付けて、何が「命輝く」（万博テーマ）だッ！

不平等契約→ツケは大阪市民・府民に

9月22日、政府は大阪府とカジノ事業者が結ぶ実施協定（＝本契約）案を認可しました。最大の問題点は、26年9月の3年後まで「事業解除権」を事業者に与えたこと。夢洲の液状化や地盤沈下などの不都合はすべて解除理由になり、事業者は途中で投げ出して逃げることも可能。焦る大阪府・市政=維新は足元を見られ、カジノ事業者の言いなりの“不平等契約”そのものです。

税金投入は天井知らず 夢洲の土地液状化対策、鉄道や道路整備などを含む万博とカジノ関連のインフラ整備は、当初の約3400億円から7950億円と膨れ上がっています。大阪市民・府民・国民の税金が使われていく万博もIR・カジノもいりません！即刻中止を求めます。今ならまだ、私たちの被害は少なくて済みます。

夢洲カジノを止める会 池田・豊中・箕面（連絡先：090-8980-2436 やまだ）

11月1日（水）16:30~17:30 夢洲万博もカジノもいらない！阪急池田駅前宣伝行動